



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月7日

上場会社名 株式会社タダノ 上場取引所 東  
 コード番号 6395 URL <https://www.tadano.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 俊明  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 コーポレート本部長 (氏名) 橋本 勝久 (TEL) 087-839-5601  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	85,845	6.6	4,012	△20.6	3,205	△16.0	1,932	△44.8
2025年12月期第1四半期	80,495	28.9	5,054	△10.1	3,816	△18.2	3,499	73.7

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 3,278百万円(431.3%) 2025年12月期第1四半期 617百万円(△86.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	15.29	—
2025年12月期第1四半期	27.60	—

(注) 2025年12月期第3四半期連結会計期間において、マニテックス・インターナショナルInc. 買収に伴う企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	463,717	205,968	44.4
2025年12月期	458,529	205,946	44.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 205,893百万円 2025年12月期 205,860百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	18.00	—	26.00	44.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	400,000	14.5	25,000	34.7	22,000	45.7	14,000	△23.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	129,500,355株	2025年12月期	129,500,355株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	3,095,096株	2025年12月期	3,143,928株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	126,381,070株	2025年12月期1Q	126,798,137株

(注) 当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入しております。野村信託銀行株式会社（タダノ・グループ従業員持株会専用信託）が保有する当社株式を期末自己株式数に含めております（2026年12月期1Q 990,800株、2025年12月期 1,039,700株）。また、当該株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年12月期1Q 1,015,025株、2025年12月期1Q 340,425株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

2025年12月期第3四半期連結会計期間において、米国Manitex International, Inc. 買収に伴う企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、各種政策効果もあり、緩やかに回復しました。海外においても、一部地域に足踏みがみられるものの、景気は緩やかに回復しました。

一方で、米国通商政策による影響や中東情勢を中心とした地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明感が増す中、世界経済の下振れが懸念されます。

このような経営環境のもと、日本向け売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーンが減少したものの、高所作業車が増加、また、2025年7月に買収が完了したIHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：株式会社タダノインフラソリューションズ、以下TIS）の運搬機械売上も加わり、306億3千1百万円（前年同期比129.2%）となりました。海外向け売上高は、北米が増加したものの、中東・欧州が減少し、552億1千4百万円（前年同期比97.2%）となりました。この結果、総売上高は858億4千5百万円（前年同期比106.6%）、海外売上高比率は64.3%となりました。

売上が増加したものの、米国関税コスト増加等もあり、営業利益は40億1千2百万円（前年同期比79.4%）、経常利益は32億5百万円（前年同期比84.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億3千2百万円（前年同期比55.2%）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。なお、セグメント別とは、当社及び連結対象子会社の所在地別の売上高・営業利益であり、地域別売上高とは異なります。

#### 1) 日本

車両搭載型クレーンが減少したものの、建設用クレーン・高所作業車が増加、また、IHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）買収に伴う運搬機械の売上も加わり、売上高は524億3千1百万円（前年同期比121.0%）、営業利益は57億9千6百万円（前年同期比99.6%）となりました。

#### 2) 欧州

建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が増加し、売上高は282億6千9百万円（前年同期比114.2%）、営業利益は8億3千8百万円の損失（前年同期21億3千4百万円の営業損失）となりました。

#### 3) 米州

車両搭載型クレーンの売上が減少したものの、建設用クレーン・高所作業車の売上が増加し、売上高は362億4千8百万円（前年同期比110.8%）、米国関税コスト増加もあり、営業利益は1億7千1百万円（前年同期比36.5%）となりました。

#### 4) オセアニア

主に建設用クレーンの売上が増加し、売上高は35億3百万円（前年同期比133.7%）、モデルミックス等の影響もあり、営業利益は1千8百万円（前年同期比9.6%）となりました。

#### 5) その他

主に建設用クレーン・高所作業車の売上が増加、また、IHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）買収に伴う運搬機械の売上が加わり、売上高は25億4千2百万円（前年同期比158.5%）、営業利益は1億6千9百万円（前年同期比386.2%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。なお、「運搬機械」の項目については、2025年7月に買収が完了したIHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）の品目が加わったことに伴い新設したため、対前年同期増減率を記載しておりません。

1) 建設用クレーン

日本向け売上高は、大規模工事が実施・計画されているものの、慢性的なオペレーター不足や資材価格高騰の影響等もあり、86億2千9百万円（前年同期比97.0%）となりました。海外向け売上高は、一部地域を除き、ここ数年の急速な需要増加基調に落ち着きが見え始める中、393億6百万円（前年同期比97.9%）となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は479億3千5百万円（前年同期比97.8%）となりました。

2) 車両搭載型クレーン

日本向け売上高は、トラック登録台数が減少する中、39億8千8百万円（前年同期比94.1%）となりました。海外向け売上高は、57億5百万円（前年同期比92.2%）となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は96億9千3百万円（前年同期比93.0%）となりました。

3) 高所作業車

日本向け売上高は、需要が堅調に推移し、57億5千4百万円（前年同期比105.5%）となりました。海外向け売上高は、13億5千9百万円（前年同期比113.5%）となりました。この結果、高所作業車の売上高は71億1千4百万円（前年同期比106.9%）となりました。

4) 運搬機械

運搬機械の売上高は、IHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）買収により、30億4千7百万円（前年同期比-）となりました。

5) その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、IHI運搬機械株式会社の運搬システム事業（現：TIS）買収もあり、180億5千4百万円（前年同期比125.5%）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末と比べ51億8千7百万円増加の4,637億1千7百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少127億5百万円があったものの、現金及び預金の増加73億7千1百万円や棚卸資産の増加119億8千7百万円があったことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末と比べ51億6千5百万円増加の2,577億4千8百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少75億7千万円や電子記録債務の減少33億7千万円があったものの、短期借入金の増加156億3千万円があったことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末と比べ2千2百万円増加の2,059億6千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少13億8千万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加7億5千万円や為替換算調整勘定の増加4億2千1百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月10日付けの2026年12月期連結業績予想は変更しておりません。

なお、連結業績予想には、中東情勢の緊迫化に伴う影響を見込んでおりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,842	89,213
受取手形、売掛金及び契約資産	62,002	49,297
電子記録債権	10,468	11,008
商品及び製品	68,870	77,405
仕掛品	50,888	55,587
原材料及び貯蔵品	36,957	35,710
その他	15,058	13,778
貸倒引当金	△767	△758
流動資産合計	325,320	331,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,457	28,302
機械装置及び運搬具(純額)	11,812	11,619
土地	27,807	27,787
リース資産(純額)	1,203	1,114
建設仮勘定	6,535	6,879
その他(純額)	6,216	6,530
有形固定資産合計	82,032	82,233
無形固定資産		
のれん	17,889	17,500
その他	9,335	9,153
無形固定資産合計	27,225	26,654
投資その他の資産		
投資有価証券	11,631	12,714
繰延税金資産	8,947	9,140
その他	3,677	2,036
貸倒引当金	△305	△304
投資その他の資産合計	23,951	23,586
固定資産合計	133,209	132,473
資産合計	458,529	463,717

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,946	30,376
電子記録債務	6,751	3,381
短期借入金	53,215	68,846
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
リース債務	1,955	2,034
未払金	9,360	6,850
未払法人税等	2,079	2,473
製品保証引当金	6,575	6,370
その他	25,147	29,279
流動負債合計	158,032	164,613
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	57,202	56,365
リース債務	3,644	3,655
繰延税金負債	2,825	2,703
再評価に係る繰延税金負債	2,173	2,173
退職給付に係る負債	11,870	11,393
その他	1,834	1,843
固定負債合計	94,550	93,134
負債合計	252,583	257,748
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	17,510	17,510
利益剰余金	153,274	151,894
自己株式	△3,146	△3,089
株主資本合計	180,660	179,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,121	5,872
繰延ヘッジ損益	△91	△116
土地再評価差額金	3,033	3,033
為替換算調整勘定	16,362	16,783
退職給付に係る調整累計額	775	983
その他の包括利益累計額合計	25,200	26,556
非支配株主持分	85	75
純資産合計	205,946	205,968
負債純資産合計	458,529	463,717

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	80,495	85,845
売上原価	57,571	61,153
売上総利益	22,923	24,691
販売費及び一般管理費	17,869	20,678
営業利益	5,054	4,012
営業外収益		
受取利息	76	90
受取配当金	2	3
その他	102	91
営業外収益合計	181	184
営業外費用		
支払利息	645	671
為替差損	554	124
その他	218	196
営業外費用合計	1,418	992
経常利益	3,816	3,205
特別利益		
固定資産売却益	931	37
段階取得に係る差益	1,372	—
特別利益合計	2,303	37
特別損失		
固定資産除売却損	0	32
工場再編関連費用	363	—
特別損失合計	364	32
税金等調整前四半期純利益	5,755	3,210
法人税、住民税及び事業税	2,410	2,004
法人税等調整額	△178	△717
法人税等合計	2,232	1,286
四半期純利益	3,523	1,923
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,499	1,932

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	3,523	1,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△719	750
繰延ヘッジ損益	—	△24
土地再評価差額金	△63	—
為替換算調整勘定	△2,136	419
退職給付に係る調整額	12	208
その他の包括利益合計	△2,906	1,354
四半期包括利益	617	3,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	3,288
非支配株主に係る四半期包括利益	△67	△10

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	2,146百万円	2,118百万円
のれんの償却額	236百万円	484百万円

(注) 2025年12月期第3四半期連結会計期間において、マニテックス・インターナショナルInc. 買収に伴う企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	欧州	米州	オセアニア	計				
売上高									
建設用クレーン	14,008	8,145	24,747	1,542	48,444	581	49,026	—	49,026
車両搭載型クレーン	4,454	2,208	3,667	11	10,342	84	10,426	—	10,426
高所作業車	5,676	682	111	81	6,551	103	6,654	—	6,654
その他	5,886	2,875	3,988	933	13,684	703	14,387	—	14,387
顧客との契約から 生じる収益	30,026	13,912	32,514	2,569	79,022	1,473	80,495	—	80,495
外部顧客への売上高	30,026	13,912	32,514	2,569	79,022	1,473	80,495	—	80,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,305	10,849	203	49	24,408	131	24,540	△24,540	—
計	43,331	24,761	32,718	2,619	103,431	1,604	105,035	△24,540	80,495
セグメント利益 又は損失(△)	5,817	△2,134	470	192	4,347	43	4,391	663	5,054

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額853百万円、のれんの償却額△192百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 2025年12月期第3四半期連結会計期間において、マニテックス・インターナショナルInc. 買収に伴う企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年12月期第1四半期連結累計期間に係るセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マニテックス・インターナショナルInc. の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、第1四半期連結累計期間においては7,990百万円であります。なお、のれんの増加額は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。また、当該金額は報告セグメントごとに分けることが困難であるため、報告セグメントごとの金額は記載していません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	欧州	米州	オセアニア	計				
売上高									
建設用クレーン	9,977	5,227	28,982	2,847	47,034	901	47,935	—	47,935
車両搭載型クレーン	4,152	2,315	3,092	33	9,593	99	9,693	—	9,693
高所作業車	5,754	1,009	128	—	6,892	221	7,114	—	7,114
運搬機械	3,047	—	—	—	3,047	—	3,047	—	3,047
その他	10,042	3,079	3,351	580	17,053	1,000	18,054	—	18,054
顧客との契約から 生じる収益	32,974	11,630	35,555	3,461	83,622	2,223	85,845	—	85,845
外部顧客への売上高	32,974	11,630	35,555	3,461	83,622	2,223	85,845	—	85,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,457	16,638	693	41	36,830	319	37,150	△37,150	—
計	52,431	28,269	36,248	3,503	120,452	2,542	122,995	△37,150	85,845
セグメント利益 又は損失(△)	5,796	△838	171	18	5,148	169	5,318	△1,305	4,012

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△1,181百万円、のれんの償却額△128百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。